

平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年7月22日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 井上 武彦

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,754	3.4	203	46.4	455	24.7	276	21.1
25年3月期第1四半期	25,614	16.7	378	81.7	605	72.3	350	73.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 141百万円 (62.4%) 25年3月期第1四半期 377百万円 (72.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.44	
25年3月期第1四半期	15.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	67,027	41,393	61.8	1,863.40
25年3月期	71,128	41,696	58.6	1,877.02

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 41,393百万円 25年3月期 41,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		20.00		20.00	40.00
26年3月期					
26年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,700	1.3	800	10.3	1,100	17.3	600	31.8	27.01
通期	105,000	2.3	2,700	59.9	3,400	34.2	2,100	47.3	94.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,237,873 株	25年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	26年3月期1Q	23,826 株	25年3月期	23,816 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	22,214,052 株	25年3月期1Q	22,214,196 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待感を背景に、円高の是正や株価の上昇等、緩やかな持ち直しの傾向が見られる一方で、海外経済の減速懸念等により、先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、スマートフォン・タブレットの普及により、その周辺機器市場は拡大したものの、パソコン周辺機器市場及びデジタルテレビ関連市場は消費マインドの低迷により、厳しい状況が続きました。

当社グループはこのような厳しい市場環境の中で、当社グループの原点である「ユーザーニーズの具現化」による製品開発に取り組みました。成長市場であるスマートフォン・タブレット関連市場において、最新機種の発売に合わせて対応製品をいち早く市場に投入する取り組みに加え、急速充電が可能な大容量バッテリー等ユーザーニーズを反映した製品の販売に努めました。また構造改革によるムリ・ムダ・ムラの徹底排除を推進し、筋肉質な経営体質への変革を進めました。しかし、パソコン、デジタルテレビの需要減による周辺機器市場の縮小に加え、円安による原価上昇をコストダウンでは補い切れず、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を下回りました。

これらにより、第1四半期連結累計期間の売上高は247億54百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益2億3百万円（同46.4%減）、経常利益4億55百万円（同24.7%減）、四半期純利益2億76百万円（同21.1%減）となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品では、Windows XPのサポート終了に伴うパソコン本体の買い替え需要の増加に伴い、パソコン用メモリモジュールの追加購入需要が回復しました。その結果、販売台数は前年同期比3.7%増加し、売上高は前年同期比17.6%増の12億98百万円となりました。

フラッシュメモリ製品では、パソコンから引き抜いた際にUSBコネクタが自動的に収納される「オートリターン機構」を業界で初めて^{※1}採用したUSBメモリを発売する等、拡販に努めました。しかし、販売価格上昇の影響により、販売台数は前年同期比31.9%減少し、売上高は前年同期比24.8%減の17億19百万円となりました。

ストレージ製品では、先行書き込みを行う「アドバンスドライト機能」で体感スピードを向上する新転送ソフトウェアを付属した新製品を発売する等、高付加価値製品の拡販に注力しました。しかし、海外市場における低収益製品の販売抑制、国内市場での販売価格上昇の影響により、販売台数は前年同期比11.1%減少し、売上高は前年同期比5.8%減の88億44百万円となりました。

NAS（ネットワーク対応ハードディスク）製品では、法人向けNASのラインアップ強化に努め、拡大するストレージ需要に対するソリューション提案を引き続き行いました。販売台数は前年同期比14.1%増加し、売上高は前年同期比13.8%増の32億81百万円となりました。

ネットワーク製品では、様々な場面で無線LANを利用してスマートフォン・タブレットでインターネットを快適に楽しむ提案を積極的に進め、市場拡大に努めました。ホテルなどの有線インターネット回線を手軽にWi-Fi化できるトラベル用Wi-Fiルータ、スマートフォン・タブレットから簡単に設定できるデュアルバンド300MbpsのWi-Fiルータを上市しラインアップを拡充しました。これらにより、国内市場での販売は増加しましたが、海外市場での販売減少により、販売台数は前年同期比14.0%減少し、売上高は前年同期比8.0%減の49億14百万円となりました。

サプライ・アクセサリ製品では、新機種の発売に合わせてタイムリーに新製品を出荷する取り組みに加え、ユーザーニーズを反映したスマートフォン・タブレット向け製品の発売、拡販に努めました。これらにより、販売台数は前年同期比3.4%増加しましたが、売上高は前年同期比0.8%減の25億99百万円となりました。

※1 「オートリターン機構」を搭載したUSBメモリとして(2013年5月、当社調べ)

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成25年3月期 (第1四半期連結累計期間)		平成26年3月期 (第1四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	1,104	4.3	1,298	5.2	17.6
フラッシュメモリ	2,287	8.9	1,719	6.9	△24.8
ストレージ	9,393	36.6	8,844	35.7	△5.8
NAS	2,882	11.3	3,281	13.3	13.8
ネットワーク	5,341	20.9	4,914	19.9	△8.0
サプライ・アクセサリ	2,621	10.2	2,599	10.5	△0.8
DOS/Vパーツ	1,045	4.1	927	3.7	△11.3
その他	941	3.7	1,172	4.8	24.5
合計	25,614	100.0	24,754	100.0	△3.4

(注) 前連結会計年度まで製品分類として表示のありましたデジタルホーム、サービスは当連結会計年度よりその他に合算いたしました。なお、その他の前連結会計年度の金額、構成比、前年同期比増減はそれに基づいて算出した数値を表示いたしました。

海外事業については、当社グループの最重要課題として推進しました。北米・中南米は法人向けNAS拡販の取り組み等により販売が増加しました。欧州は、前年の債務危機の影響による販売落ち込みから回復し、販売は増加に転じました。アジア・オセアニアは収益性の高い製品、チャネルへの移行を実施した結果、売上は減少しました。

[海外売上高]

	平成25年3月期 (第1四半期連結累計期間)		平成26年3月期 (第1四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
アジア・オセアニア	2,754	55.4	2,159	40.4	△21.6
北米・中南米	977	19.7	1,280	23.9	31.0
欧州	1,240	24.9	1,911	35.7	54.1
合計	4,971	100.0	5,350	100.0	7.6

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は670億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億円減少しました。流動資産は626億6百万円となり23億57百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少87億66百万円、受取手形及び売掛金の減少16億14百万円、商品及び製品の増加22億27百万円、有価証券の増加55億円によるものです。固定資産は44億21百万円となり、17億42百万円減少しました。

負債合計は256億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億98百万円減少しました。流動負債は231億69百万円となり、37億1百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少31億85百万円によるものです。固定負債は24億64百万円となり、97百万円減少しました。

純資産合計は413億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少しました。これは主に、四半期純利益2億76百万円の獲得と配当金4億44百万円の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,817	4,050
受取手形及び売掛金	17,256	15,642
有価証券	20,000	25,500
商品及び製品	6,029	8,257
原材料及び貯蔵品	5,713	4,765
繰延税金資産	333	329
その他	2,818	4,066
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	64,964	62,606
固定資産		
有形固定資産	721	728
無形固定資産	1,101	1,159
投資その他の資産		
投資有価証券	3,796	1,964
その他	561	585
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,340	2,532
固定資産合計	6,163	4,421
資産合計	71,128	67,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,780	16,594
電子記録債務	—	325
短期借入金	—	37
未払法人税等	486	242
未払金	3,024	3,021
役員賞与引当金	9	5
製品保証引当金	137	141
その他	3,432	2,802
流動負債合計	26,870	23,169
固定負債		
繰延税金負債	981	903
退職給付引当金	905	894
役員退職慰労引当金	475	467
リサイクル費用引当金	155	155
その他	43	43
固定負債合計	2,561	2,464
負債合計	29,432	25,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	40,085	39,917
自己株式	△60	△60
株主資本合計	41,799	41,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	112
繰延ヘッジ損益	△0	△112
為替換算調整勘定	△259	△237
その他の包括利益累計額合計	△103	△237
純資産合計	41,696	41,393
負債純資産合計	71,128	67,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	25,614	24,754
売上原価	21,014	20,623
売上総利益	4,599	4,131
販売費及び一般管理費	4,221	3,928
営業利益	378	203
営業外収益		
受取利息	22	36
受取配当金	138	170
有価証券売却益	34	35
為替差益	14	—
デリバティブ評価益	—	3
持分法による投資利益	5	0
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	11	24
営業外収益合計	229	270
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	—	11
デリバティブ評価損	0	—
その他	1	6
営業外費用合計	2	18
経常利益	605	455
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	604	455
法人税、住民税及び事業税	24	162
法人税等調整額	229	17
法人税等合計	254	179
少数株主損益調整前四半期純利益	350	276
四半期純利益	350	276

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	350	276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△44
繰延ヘッジ損益	1	△112
為替換算調整勘定	71	22
その他の包括利益合計	27	△134
四半期包括利益	377	141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377	141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	22,879	578	1,239	916	25,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,863	1,388	0	35	4,287
計	25,743	1,966	1,240	951	29,902
セグメント利益又は損失(△)	494	13	△146	△20	341

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	341
セグメント間取引消去	37
四半期連結損益計算書の営業利益	378

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	北米・中南米	
売上高					
外部顧客への売上高	20,965	595	1,911	1,282	24,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,832	8,758	0	127	12,718
計	24,797	9,353	1,911	1,410	37,473
セグメント利益又は損失(△)	277	△35	△31	△15	194

(注) 前第3四半期連結会計期間より、従来の「米国」について、「北米・中南米」へ名称を変更いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	194
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益計算書の営業利益	203